

- 問1 国務大臣の仕事として、内閣総理大臣と一緒に参加して国の重要な方針を決めるための会議を何といますか。
- 問2 日本国憲法の原則の1つである「国民主権」とは、どのような考え方のことですか。
- 問3 内閣が国の政治を進める中心となって活動するとき、その最高責任者となるのは誰ですか。
- 問4 すべての人が人間らしく幸せに生きる権利を大切にすることを、日本国憲法の三原則の一つで何といますか。
- 問5 核兵器を「もたない、つぐらない、もちこませない」という、日本の基本方針を何といますか。
- 問6 憲法の前文と第9条で、戦争をしないことや戦力をもたないことを定めた、日本国憲法の3つの原則の1つは何ですか。
- 問7 近年、日本の選挙の投票率は低下傾向にあります。このまま投票率が下がると、どのような問題が心配されますか。
- 問8 1946年11月3日に発表（公布）され、1947年5月3日に効力が発生（施行）した、日本の基本となる憲法は何ですか。
- 問9 日本国憲法では、国の政治を決める力は誰にあると決められていますか。
- 問10 日本の政治で、内閣総理大臣に任命されて、それぞれの省庁の仕事を担当する責任者のことを何といますか。
- 問11 都道府県や市（区）町村のことで、地域に住む住民の願いをとり入れて、さまざまな活動を行う組織を何といますか。
- 問12 国会が予算案を決定する前に、内閣が予算案を作成して国会に提出するには、どのような理由があるのでしょうか。
- 問13 日本国憲法で定められた、国民が守るべき3つの義務のことを何といますか。
- 問14 参議院は、衆議院と比べてどのような役割を期待されて作られた組織ですか。
- 問15 裁判員制度において、裁判員に選ばれて裁判に関わるのはどのような人たちですか。
- 問16 日本の基本となる憲法である「日本国憲法」が、実際に効力をもつようになった（施行された）日はいつですか。
- 問17 天皇が憲法に定められた仕事を行うことを何といますか。
- 問18 国の平和と安全を守るための機関としてつくられた組織は何ですか。
- 問19 なぜ、国会・内閣・裁判所の三つに権力を分けて、お互いに監視し合う仕組み（三権分立）が必要なのでしょう。
- 問20 選挙で自分たちの代表を選ぶなど、国民が国の政治に参加する権利のことを何といますか。
- 問21 人が生まれながらにして持っている、人間らしく生きる権利を保障する、日本国憲法の3つの原則の1つを何といますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 閣議	国務大臣は、内閣総理大臣がひらく「閣議」に出席します。ここでは国のこれからの進め方や、法律を作るための話し合いなど、政治の重要な事柄が話し合われます。
問2	答え 国の政治のあり方を決める権利は国民にあるという考え方	国民主権は、国の政治の進め方を最終的に決定する権利が国民にあるとする考え方のことです。
問3	答え 内閣総理大臣	内閣総理大臣は内閣のリーダーであり、国の政治を進める行政のトップです。各省庁をまとめる国務大臣を任命するのも内閣総理大臣の重要な役割です。
問4	答え 基本的人権の尊重	「基本的人権の尊重」とは、誰もが生まれながらにして持っている、自分らしく幸せに生きる権利（基本的人権）を大切にすることです。国民主権、平和主義と並ぶ、日本国憲法の三原則の一つです。
問5	答え 非核三原則	核兵器を「もたない、つぐらない、もちこませない」という日本の基本方針を非核三原則といえます。
問6	答え 平和主義	戦争をしないこと、戦争のための戦力をもたないことを定めた原則を「平和主義」といいます。
問7	答え 国民主権が十分に機能しなくなる	国民主権とは、国民が国の政治のあり方を決める権利のことです。投票率が下がると、一部の意見だけが政治に反映されやすくなり、国民全体の意志を政治に届けることが難しくなってしまうため、民主主義の大切なルールが弱まってしまうリスクがあります。
問8	答え 日本国憲法	1946年11月3日に公布され、1947年5月3日に施行された、日本の基本となる憲法は日本国憲法です。
問9	答え 国民	日本国憲法の大きな柱の一つである「国民主権」は、国をどうするかを決める最終的な権利が国民にあるという考え方です。日本が民主的な社会であるための最も大切な原則です。
問10	答え 国務大臣	内閣総理大臣によって任命された国務大臣は、文部科学省や外務省といった各省庁の責任者として、その分野の政治を動かす大切な役割を担っています。
問11	答え 地方自治体	都道府県や市（区）町村は地方自治体とよばれ、地域に住む住民の願いをとり入れた活動を行います。
問12	答え 国の仕事の計画を立てる役割を内閣が担っているから	内閣は行政（ぎょうせい）を担当しており、どのような政策を行い、どれだけのお金が必要かを詳細に判断して予算案を作ります。国会は、その予算案の内容が適切かどうかを国民の代表としてチェックし、最終的に決定することで、政治のバランスを保っています。
問13	答え 国民の義務	日本国憲法で定められた、国民が守るべき3つの義務を「国民の義務」といいます。
問14	答え 慎重に時間をかけて審議する役割	参議院は任期が長く解散がないため、その時々世論に大きく左右されすぎず、長い目で見て国にとって本当に良いことなのかを落ち着いて考える「良識の府」としての役割が期待されています。
問15	答え 一般の国民	裁判員制度は、専門家だけでなく、一般の国民が裁判員に選ばれて裁判に関わる制度です。
問16	答え 1947年5月3日	日本国憲法は、1946年11月3日に公布（発表）され、翌年の1947年5月3日に施行（スタート）されました。
問17	答え 国事行為	天皇が憲法に定められた仕事を行うことを「国事行為」といいます。
問18	答え 自衛隊	国の平和と安全を守るための機関としてつくられた組織を「自衛隊」といいます。
問19	答え 一つの機関に権力が集まると、独裁や乱用のおそれがあるから	もし一つの機関だけがすべての強い権力を持っていたら、その権力が正しく使われない可能性が出てきます。三権分立によってバランスを保つことで、国民の権利を守る民主的な政治が行われています。
問20	答え 参政権	選挙で代表を選ぶなど、政治に参加する権利のことを参政権といえます。
問21	答え 基本的人権の尊重	人が生まれながらにして持っている、人間らしく生きる権利を保障することを基本的人権の尊重といえます。